

大学生における動機づけ調整方略と課題価値、達成目標志向性がエンゲージメントに与える影響

○高原 萌 (元名古屋大学)

中谷素之 (名古屋大学)

キーワード：動機づけ調整方略、エンゲージメント、達成目標志向性

問題と目的

報酬に頼らない自律的な動機づけ調整方略は感情的エンゲージメントに正の影響を与え(梅本・伊藤・田中, 2016), そのような方略を教える使用を促すことが大学生の学習にとって重要と考えられている(梅本・田中, 2017)。しかし, 各学習者の課題価値や達成目標志向性などの動機づけ要因の質により, 効果の得られやすい方略が異なる可能性が考えられる。

そこで本研究では, ①課題価値が達成目標志向性を介して動機づけ調整方略に及ぼす影響と, ②その結果として方略がエンゲージメントに与える影響について検討することを目的とする。

方 法

調査参加者 文系学部に所属する大学生 179 名(男性 56 名, 女性 123 名; $M = 20.76$ 歳, $SD = 1.21$)。対象者の所属大学は, 国立大学 126 名, 公立大学 16 名, 私立大学 37 名で, 1 年生 5 名, 2 年生 62 名, 3 年生 43 名, 4 年生 68 名, 院生 1 名であった。

調査内容

課題価値 興味価値(学んでいて楽しいと感じられる内容)5 項目, 実践的利用価値(職業を通して社会に貢献しようとするときに役立つ内容)4 項目, 公的獲得価値(詳しく知っていると他者から尊敬されるような内容)6 項目, 制度的利用価値(希望する職業に就くための試験に必要な内容)5 項目の計 20 項目(伊田, 2001)。

達成目標志向性 熟達目標(授業中は, できるだけたくさんのことを勉強したいと思う)6 項目, 遂行接近目標(私は, 他の人より良い成績をとることを目標にしている)7 項目, 遂行回避目標(私は, 授業で悪い成績をとる可能性について心配してしまう)2 項目の計 15 項目(光浪, 2010)。

動機づけ調整方略 興味高揚方略(勉強の内容が面白くなるように工夫する)5 項目, 価値づけ方略(勉強の内容が将来の役に立つと考える)5 項目, 認知変容方略(今やっている勉強は簡単だと考える)2 項目, 達成想像方略(勉強をやり遂げた時の達成感を考える)3 項目, 協同方略(友だちと協力しながら勉強する)2 項目, 成績重視方略(単位を取るためだと考える)2 項目の計 19 項目(梅本・田中, 2012)。

エンゲージメント 行動的エンゲージメント(私は大学で頑張って専攻する学問の勉強をしている)4 項目(梅本・田中, 2012), 感情的エンゲ

ージメント(専攻している学問の勉強は楽しい)5 項目(梅本他, 2016)。

なお全ての項目について 5 段階評定で回答を求めた。また, 各項目は専攻学問の学習について尋ねるものとし, 項目の文言を一部変更した。

結果と考察

パス解析 興味高揚方略を内発的な動機づけ調整方略, 達成想像方略・協同方略・成績重視方略を外発的な動機づけ調整方略とした。内発的な方略の使用は熟達目標を介して興味価値・実践的利用価値から予測され, 外発的な方略の使用は遂行接近目標を介して制度的利用価値・公的獲得価値から予測されることが示された (Figure 1)。

交互作用項を投入した重回帰分析と単純傾斜の検討 興味価値+熟達目標を内発的動機づけ, 制度的利用価値+遂行接近目標を外発的動機づけとした。分析の結果, 内発的な方略が感情的エンゲージメントに与える効果は, 外発的動機づけが高い場合よりも低い場合の方が相対的に大きいことが示された(外発的動機づけ高群: $\beta = .25, p < .05$, 低群: $\beta = .58, p < .001$, 交互作用: $\beta = -.17, p < .05$)。一方, 外発的な方略の効果は内発的動機づけが高い場合にはみられず低い場合はみられることが示唆された(高群: $\beta = -.02, p = .75$, 低群: $\beta = .17, p < .10$, 交互作用: $\beta = -.09, p < .10$)。また遂行回避目標が低い場合, 成績重視方略はエンゲージメントへ影響しない可能性が示された(高群: $\beta = -.42, p < .001$, 低群: $\beta = -.11, p = .14$, 交互作用: $\beta = -.20, p < .01$)。以上より, 動機づけ調整方略が感情的エンゲージメントに与える影響の大きさは, 課題価値や達成目標志向性の高さによって異なる交互作用効果がみられる可能性が示された。

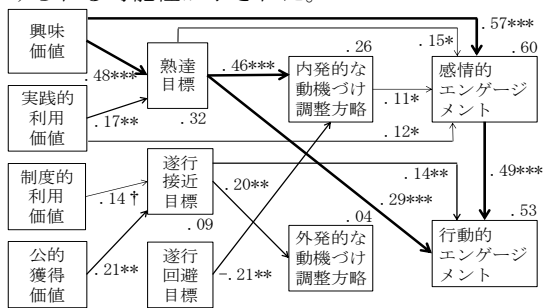
† $p < .10$ * $p < .05$ ** $p < .01$ *** $p < .001$

Figure 1 パス解析結果